

イオン環境財団主催愛知県知多市植樹ボランティア体験レポート

株式会社 千葉測器
小柳賢一・高見英夫

平成25年11月2日（土）、愛知県知多市主催のイオン環境財団主催植樹ボランティアに参加させていただきました。昨年も申し込みましたが、残念ながら抽選に漏れ参加することが出来ませんでした。今年は抽選枠が5組に増えたこともあり、当選する事が出来ました。

イオン様に関しましては、本社が千葉市幕張にありスーパーも千葉県内に多く展開しており、植樹事業に関しましては本年12月の幕張店オープンに合わせて、合計1000万本、100万人の参加になると聞いておりました。そのような経緯もあり、4月の決定時より楽しみにしておりました。

会場につきましては、地元の浦安市もありましたが見聞を広めるため、愛知県知多市会場を申込み致しました。実際の参加に関しましては予備知識がなく、心配しましたが事務局の辻坂様より谷口商事様の岡・北部両氏の体験レポートをご紹介頂き、読ませて頂くことで大変勉強になりました。

当日は、朝は曇っていましたが実際の植樹が始まる11時ごろには薄日もさし快適な植樹日和となりました。場所は、伊勢湾・名古屋港知多市新舞子にある、名古屋港南5区という、南にはセントレア中部国際空港にも近い、風光明媚なところでした。今年の植樹は5年計画の4年目ということもあり、植樹会場には平成22年度に植えられた樹木もかなり育っていました。

午前10時より式典が行われ、知多市宮島市長様・イオン環境財団事業部長様・名古屋港管理組合代表様と趣旨挨拶が行われ、イオン環境財団より5600本の苗木が寄贈されたとの事でした。植樹参加者は、地元の知多市みどりの少年団200名を含め約800名弱がボランティアとして参加集合しました。植樹木名は、知多市の木である「ヤマモモ」をはじめとしてトベラ・マテバシイ・シャリンバイ・タジノキ・マサキ・ウバメガシノの7種類でした。一人平均7本ぐらいの予定でしたが、上手な方も多く5本ぐらい植えて終了致しました。

私共も会社として環境ISO14001取得し、環境に配慮し営業活動を進めておりますが、出張細断を通じてリサイクルに取り組み、改めて尚一層地球環境の保全に務めることを考えさせられた貴重な体験でした。ありがとうございました。

